

罹 災 (届 出) 証 明 願

(元号) 年 月 日

南 部 町 長

(申請者)
住所

ふりがな
氏 名
罹災世帯主とのご関係
☐本人 ☐同一世帯員 ☐その他()
連絡先 - -

以下のとおり、証明願います。

罹 災 原 因	☐ 大雨 ☐ 暴風・強風 ☐ 降雪 ☐ 落雷 ☐ 地震 ☐ その他()		
罹 災 年 月 日	(元号) 年 月 日		
罹 災 世 帯 主	☐ 申請者と同じ ☐ 申請者と異なる(以下、氏名・住所記載) (住所) (氏名)		
世 帯 構 成 員	☐ 記載を希望する ☐ 記載を希望しない		
罹 災 場 所	☐ 罹災世帯主の住所と同じ ☐ 罹災世帯主の住所と異なる(以下、所在地記載) 南部町大字 字		
罹 災 物 件	☐ 住家(☐ 持家/ ☐ 借家) ☐ 非住家(種類:) ☐ その他()		
罹 災 状 況			
提 出 先	☐ 保険会社 ☐ 国・県・市町村 ☐ その他()		
証 明 書 の 送 付 先	☐ 申請者住所と同じ ☐ 申請者住所と異なる(以下に送付先住所を記載) (送付先住所)		

【自己判定方式にて交付を希望する場合】
☐「準半壊に至らない(一部損壊)」という調査結果に同意します。
※自己判定方式の場合、持参いただいた写真で被害判定を行うため、現地調査を行いません。

【町処理欄】		
本人確認	☐ 運転免許証 ☐ マイナンバーカード ☐ 旅券(パスポート) ☐ その他()	収 受 印
添 付 書 類	☐ 被害状況確認写真 ☐ その他()	

罹 災 届 出 証 明 書

☐ 上記のとおり、罹災届出がなされたことを証明します。
☐ 上記のとおり、罹災証明に係る申請を受け付けたことを証明します。
(元号) 年 月 日

南部町長 工 藤 祐 直 ㊞

記入上の注意

- 1 申請者は、申請時に本人であることが確認できるものを提示し、(申請者)欄に住所・氏名・ふりがな・罹災世帯主とのご関係・連絡先を記入してください。
- 2 代理人の場合は、申請時に代理人本人であることが確認できるものと委任状を提出し、上記(申請者)欄に住所・氏名・ふりがな・罹災世帯主とのご関係・連絡先を記入してください。
ただし、代理人が罹災世帯主の配偶者、同居の親族又は二親等内の親族である場合には、委任状は不要です。
- 3 「罹災原因」欄には、罹災又は罹災したと思われる原因について、該当する項目にレ点を記入ください。
- 4 「罹災年月日」欄には、罹災又は罹災したと思われる年月日を記入ください。
- 5 「罹災世帯主」欄には、罹災した世帯の主について、該当する項目にレ点を記入ください。罹災世帯主が申請者と異なる場合は、罹災世帯主の氏名・住所を記入ください。
- 6 「世帯構成員」欄には、証明書への世帯構成員の記載の有無について、該当する項目にレ点を記入ください。「記載を希望しない」を選択した場合は、罹災世帯主の氏名・住所のみが証明書へ記載されます。
- 7 「罹災場所」欄には、被害のあった建物の住所について、該当する項目にレ点を記入ください。被害にあった場所が罹災世帯主の住所を異なる場合は、被害にあった建物の住所を記入ください。また、アパートなどの建物名称等も記入してください。
- 8 「罹災物件」欄には、住家（現に人が住んでいる家、アパート等）及び非住家（人が住んでいない事務所、物置、車庫等）の該当する項目にレ点を記入ください。
また、建物以外で被害があったものについては、「その他」欄に記入ください。
- 9 「罹災状況」の欄には、被災した内容をできる限り詳細かつ具体的に記入してください。
例1 強風により、2階の屋根が半分剥がれ落ちた。

例2 大雨による増水で、床上〇〇cm浸水した。
- 10 「提出先」欄には、罹災証明書の提出先について、該当する項目にレ点を記入ください。
- 11 「自己判定方式にて交付を希望する場合」欄には、「準半壊に至らない(一部損壊)」という調査結果に同意する場合のみ、レ点を記入ください。
自己判定方式を希望する場合は、ご提出いただいた写真により判定を行うため、現地調査は行いません。
「準半壊に至らない(一部損壊)」とは、全壊、大規模半壊、中規模半壊、半壊又は準半壊に至らない程度(住家の損害割合が10%未満)の住家の損壊で、補修を必要とする程度のものです。